

## 2019年度（2019.5.1～2020.4.30）の取り組み報告

組織名／団体・地域（京都） 記入者（松本）

### この一年間の取り組みの特徴について

- ・前半はいわゆる「424」問題。公判は、新型コロナウイルス感染症対策の取り組みが主でした。「424」問題では、大阪での厚労省説明会前での宣伝行動、府内対象病院・京都府への申し入れ、緊急学習会、署名行動などを開催。
- ・公判は、「新型コロナウイルス感染症対策」。2回の電話相談会ははじめ、宣伝行動、第4次にわたる京都府への申し入れ、各団体の取り組み交流、医療・介護施設への財政支援を求める署名などを行いました。保健所問題でのシンポジウムを計画中です。
- ・国保キャラバン・介護キャラバン・福祉キャラバンと府内自治体を3巡した自治体要請行動を実施。各分野ごとに自治体と懇談を進めることができました。
- ・10年以上継続している隔週の「消費税廃止・社会保障充実求める定例宣伝」は継続中です。
- ・他には、こども医療費ネット、高齢者アンケート、年金裁判支援、京都市介護保険業務委託反対、新生存権裁判支援、ホームレス支援、京都市3施設合築問題、ケアマネジャーアンケート、介護保険アンケート等に取り組みました。
- ・京都市長選挙を契機に「市民のくらしを守る緊急署名」に取り組みました。
- ・こども部会を社保協内に発足させました。児童館に聞き取り調査を行い、こども自身の要求を集約することにしました。
- ・介護110番に取り組みました（相談件数1件）宣伝などの改善が必要です。
- ・TPPネットに結集し、各集会や署名行動に取り組みました。
- ・北部医療と介護の実態調査の集計・まとめ作業中です。
- ・第8次介護保険事業計画に向けて亀岡市でアンケート活動などに取り組んでいます。
- ・地域社保協が中心となり、あるいは協力し、こども食堂に取り組みました。
- ・補聴器助成運動の計画を始めています。
- ・ホームレスだけでなく、コロナによって困難に陥った人の支援を目的に「連帯ひろば」を再開しました。
- ・よりよい歯科医療を求める取り組みについて、「保険で良い歯科医療を」に結集し、署名運動などに取り組んできました。
- ・障害児者の権利を守る運動として、相模原やまゆり園事件判決日に声明を出し、京都市の障害児者の制度改悪に反対しています。
- ・新型コロナウイルス感染症対策を中心に取り組みを進めてきた結果、京都社保協が情報と運動のセンターとしての役割を果たしてきました。

### 学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴⇒1万ヵ所学習会集約は別紙報告書へ

- ・「424」、TPP、こども、介護、国保など幅広く取り組んだが、全世代型社会保障の取り組みを団体・地域からの要求も強く、すすめてきました。
- ・残念ながら、公判は、新型コロナウイルス感染症対策のために、集うことができず、これまで行ってきた地域での学習会や府内連続学習会が中止となりました。

。	
<b>署名・宣伝行動、相談活動等の取り組みの特徴</b>	
・継続的な宣伝行動に取り組み、定着しています。コロナの関係もあり、「サイレント宣伝（横幕掲示）」は逆に目立つとの評価もあります。424問題、新型コロナなどの独自ビラを作成し活用しました。	
<b>自治体要請(キャラバン)・地方議会請願、自治体アンケート等の取り組み状況について</b>	
・国保、こども、介護、福祉関係など、市町村では（特に人口規模の小さい自治体）財政困難中で、さまざまな工夫をしていること、市民の生活が深刻化しているなかで市町村の役割が大きいことについて率直な意見交換を行うことができました。	
<b>議員要請行動について(国会議員、地方議員等)</b>	
・424問題はじめ、新型コロナ問題、京都市行財政審議会などで国会議員や地方議員と要請・懇談に取り組みました。	
<b>その他</b>	
<b>署名集約(取り組んだ署名を記入ください)</b>	<b>集約数(筆数)</b>
① 「国の責任で社会保障の拡充を求める請願署名：25条署名	4548
② 「介護改善署名」	38
③ 「後期高齢一部負担金2割化反対署名」	1769
④ 「年金改善署名」	未集約
⑤ 「生活保護改善関連署名」	未集約
⑥ 「保育改善署名」	28583（京保連集約）
⑦ 「424共同・地域医療署名」	4801
⑧ 「消費税関連署名（増税反対・5%減税）署名	183
⑨ 「憲法改悪反対署名」	2358
⑩ その他（京都市民の暮らしをよくする署名）	2792
⑪	
<b>2019年度内に結成した地域社保協</b>	
・今期はありませんでした。	
<b>結成予定の地域社保協</b>	
・府内南部地域で結成に向けて努力を継続しています。	

**※締め切り 8月17日(月)とします。**

**※議案書作成、大会資料にも活用しますので締め切り厳守でお願いします。**

**※代表アドレス・k25@shahokyo.jp へ送信ください。**

## 第64回全国総会・文書発言用紙

※字数の制限はありません。ただし、当日発言は3分。

※発言資料についてもあわせて添付ください。

<組織名・発言者名>

京都社保協 南 博之

<テーマ>

京都社保協の取り組みについて

<内 容>

○発言要旨

京都社保協は、2019年度、前半は424問題、後半は新型コロナの問題で、京都府内の社会保障のセンターとしての役割を果たしてきた。府内の情報と運動の集約点としての役割は、政府が進める社会保障大改悪のなかで、府民のいのちと暮らし・雇用を守るために極めて重要である。

一年間を通じて、「社会保障のことなら社保協に」と他団体・市民からも期待が寄せられている。この役割を果たすため、さらに奮闘するとともに、中央からの情報提供、さまざまな資料、資材、方針提案を望む。

また、地域社保協の結成、団体の加入の推進も取り組んでいる。地域では、多様な運動を展開しているが、財政問題は深刻である。年間の財政が10万円程度という地域社保協もある。府内全域に運動を展開するためにこの点は大きな課題。